

令和元年

高松市消費者物価指数の動き

Consumer Price Index

香川県政策部統計調査課

# 目 次

## I 概 況

1 令和元年高松市消費者物価指数の動向	
(1) 概況 .....	1
(2) 総合指数の動き .....	2
(3) 10大費目別指数の動き .....	3
(4) 費目別指数の動き .....	5

## II 統 計 表

1 高松市中分類指数 .....	8
2 消費者物価指数の推移 .....	13

## III 参 考

1 消費者物価指数のしくみと見方（利用者のために） .....	14
2 基本分類表 .....	18
3 中分類別ウェイト（高松市・全国） .....	22
4 家計調査 .....	23

# I 概 況

# 1 令和元年高松市消費者物価指数の動向

◆◆◆ 総合指数101.9 対前年上昇率0.4% ◆◆◆

## (1) 概況

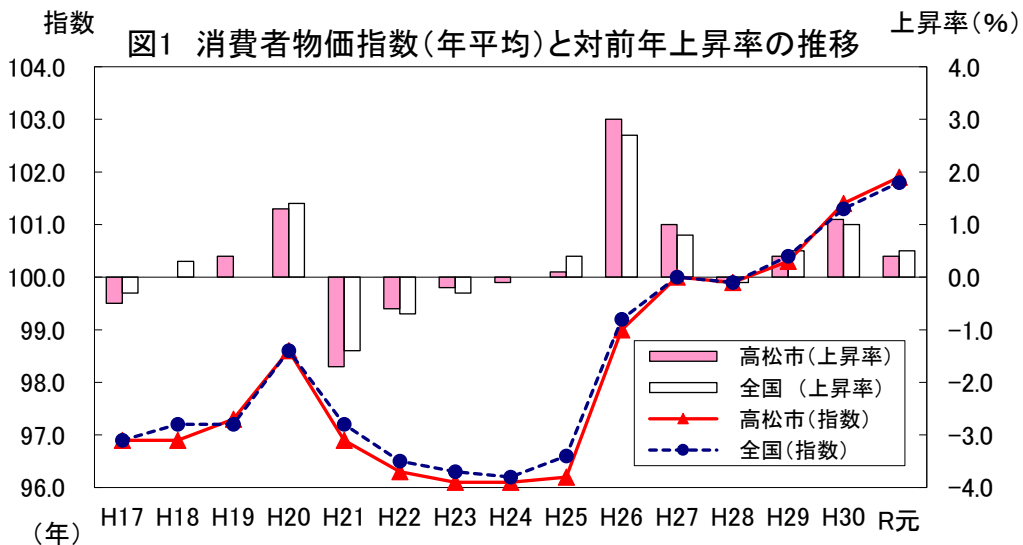
令和元年（平成31年1月～令和元年12月）平均の高松市消費者物価指数は、平成27年平均を100とした総合指数で101.9となり、前年より0.4%上昇した。

生鮮食品を除く総合は101.6となり、前年より0.5%上昇した。

近年の総合指数の動きを対前年比で見ると、平成11年以降、平成17年まで7年連続で下落し、デフレ傾向が続いていた。その後、原油及び穀物価格の高騰により平成19年・20年は上昇に転じたものの、平成20年9月のリーマン・ショック後の世界的な経済の冷え込みにより、平成21年の1.7%の下落を始まりとして、平成24年まで4年連続の下落となった。平成25年には5年ぶりに上昇に転じ、平成26年以降も同年4月からの消費税率の引き上げ（5%から8%）もあり、燃料費の価格の影響は受けつつも概ね上昇傾向が続いた。令和元年は、10月からの消費税率の引き上げ（8%から10%。ただし、食品などは8%に据え置き）もあり、平成29年から3年連続の上昇となった。

また、全国の令和元年平均総合指数は101.8となり、前年より0.5%上昇した。

(図1)



2015年=100 (平成27年=100)

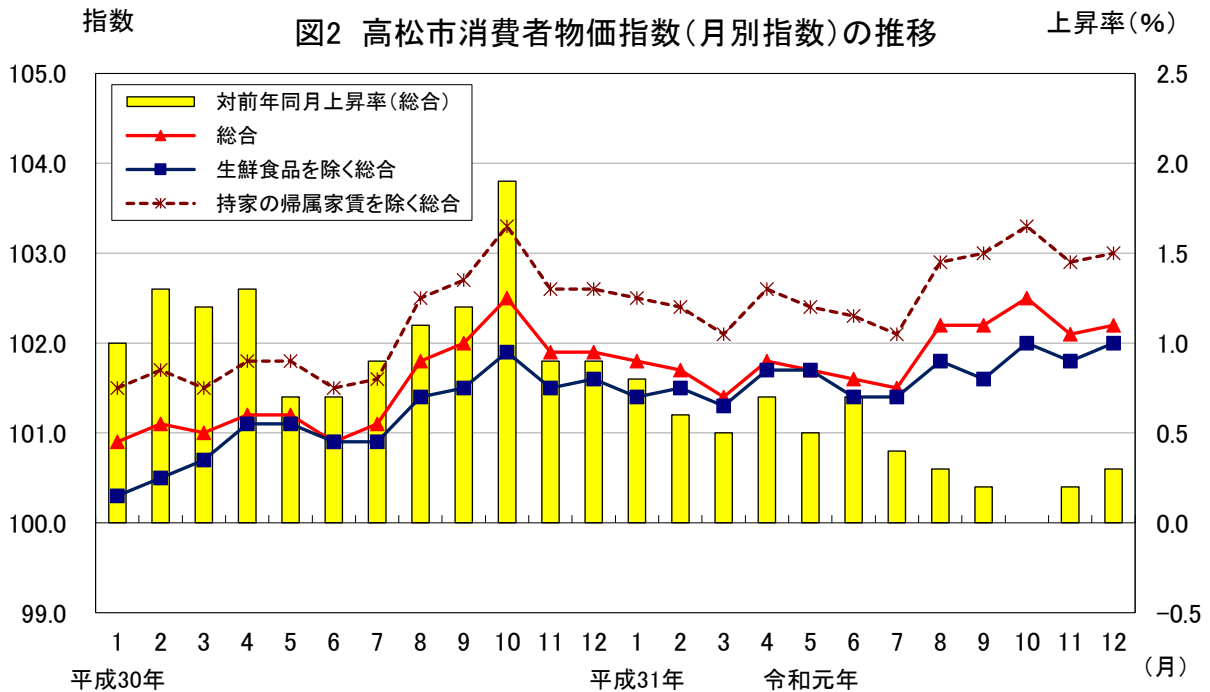
## (2) 総合指数の動き

令和元年平均の高松市消費者物価指数（総合指数）の対前年上昇率は、**0.4%**であった。  
この1年間における月別の総合指数の動きをみると、対前年同月比は、令和元年10月を除き連続で上昇している。

10大費目についてみると、10月に行われた消費税率引き上げの影響などにより、全体として上昇傾向となった。「教育」「交通・通信」「住居」の3費目を除いた7費目が概ね年間を通して上昇しており、対前年同月比上昇の要因となっている。一方、下落について特筆すべき要因としては、消費税率引き上げと同時期に行われた幼児教育無償化があり、「教育」と「諸雑費」は、いずれも10月以降、対前年同月比が大幅に下落した。

なお、生鮮食品を除く総合指数は101.6で前年に比べ**0.5%**上昇、持家の帰属家賃を除く総合指数は102.6で前年に比べ**0.5%**上昇した。

(図2)



### (3) 10大費目別指数の動き

10大費目の動きを前年比で見ると、「家具・家事用品」「光熱・水道」「食料」など7費目が上昇し、「教育」「交通・通信」「住居」の3費目が下落している。

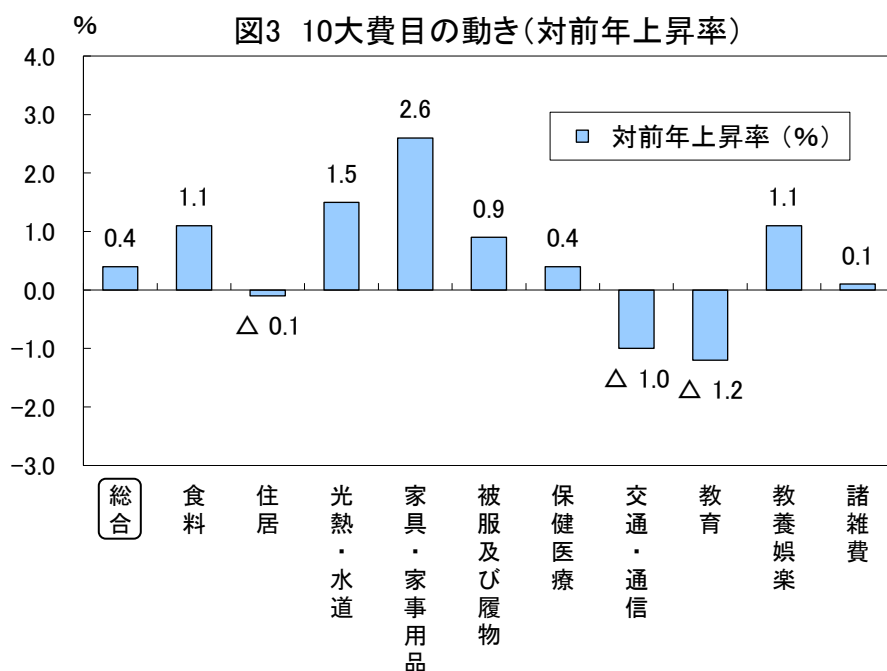
#### <上昇した費目>

家具・家事用品	(2.6%)	家庭用耐久財などの値上がり
光熱・水道	(1.5%)	電気代などの値上がり
食料	(1.1%)	生鮮魚介などの値上がり
教養娯楽	(1.1%)	書籍・他の印刷物などの値上がり
被服及び履物	(0.9%)	履物類などの値上がり
保健医療	(0.4%)	保健医療サービスなどの値上がり
諸雑費	(0.1%)	たばこなどの値上がり

#### <下落した費目>

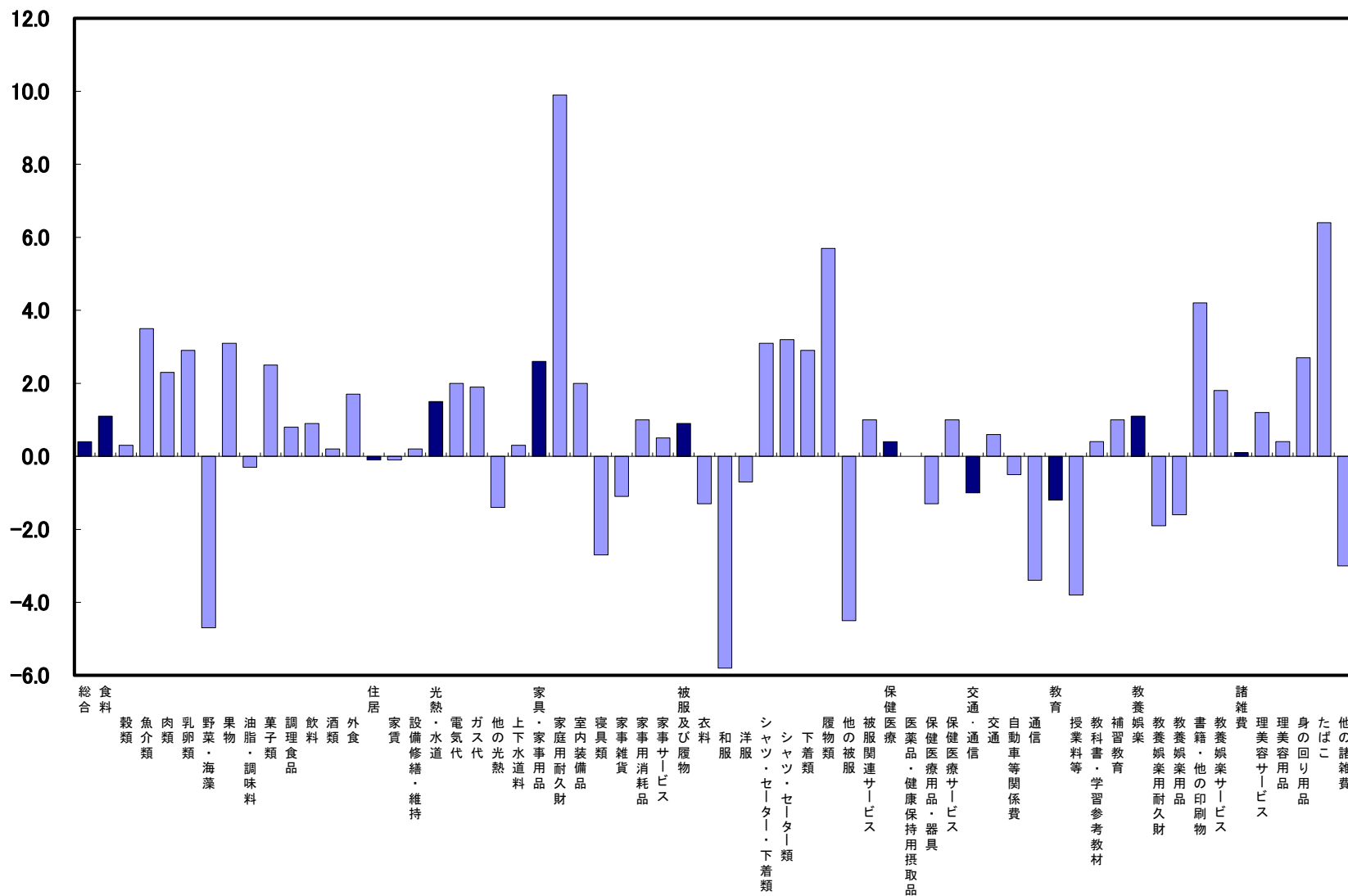
教育	( $\Delta$ 1.2%)	授業料等の値下がり
交通・通信	( $\Delta$ 1.0%)	通信などの値下がり
住居	( $\Delta$ 0.1%)	家賃などの値下がり

(図3, 図4)



(%)

図4 中分類別対前年上昇率



## (4) 費目別指数の動き

### 【食料】 指数 104.6

全体で前年比 1.1%の上昇

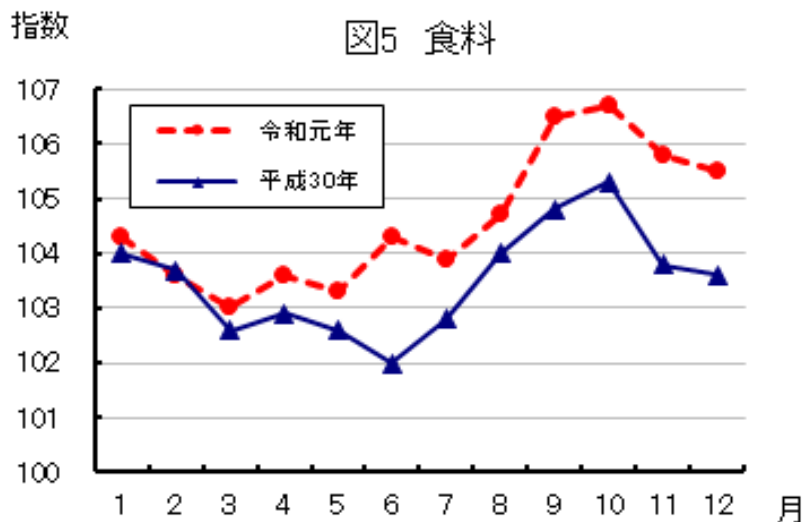
**上昇** 魚介類 (3.5%) , 果物 (3.1%) ,  
乳卵類 (2.9%) , 菓子類 (2.5%) ,  
肉類 (2.3%) , 外食 (1.7%) ,  
飲料 (0.9%) , 調理食品 (0.8%) ,  
穀類 (0.3%) , 酒類 (0.2%)

**下落** 野菜・海藻 (△4.7%) ,  
油脂・調味料 (△0.3%)

うち生鮮食品 **上昇** 生鮮魚介 (3.6%) ,  
生鮮果物 (3.3%) ,

**下落** 生鮮野菜 (△7.6%)

< 図5, 第1表 >



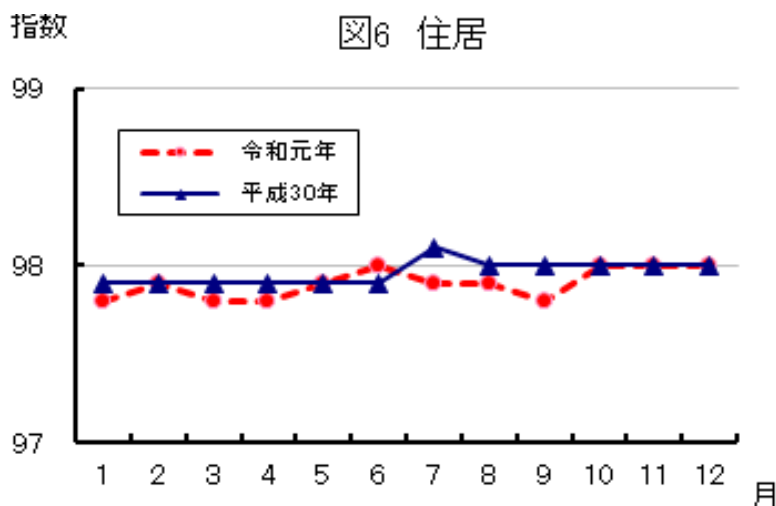
### 【住居】 指数 97.9

全体で前年比 0.1%の下落

**上昇** 設備修繕・維持 (0.2%)

**下落** 家賃 (△0.1%)

< 図6, 第1表 >



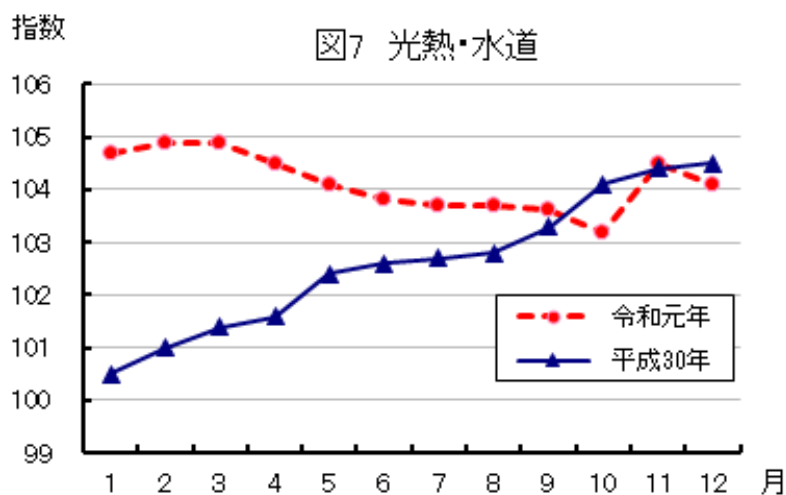
### 【光熱・水道】 指数 104.2

全体で前年比 1.5%の上昇

**上昇** 電気代 (2.0%) , ガス代 (1.9%) ,  
上下水道料 (0.3%)

**下落** 他の光熱 (△1.4%)

< 図7, 第1表 >



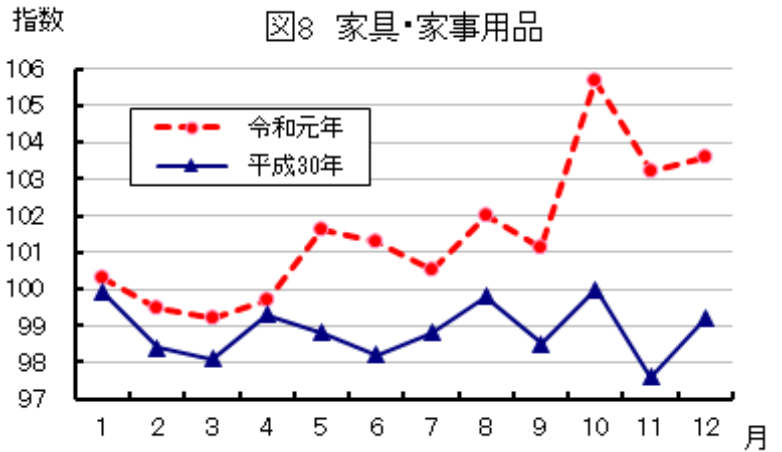


【家具・家事用品】 指数 101.5

全体で前年比 2.6%の上昇

**上昇** 家庭用耐久財 (9.9%) ,  
室内装備品 (2.0%) ,  
家事用消耗品 (1.0%) ,  
家事サービス (0.5%)

**下落** 寝具類 (△2.7%) ,  
家事雑貨 (△1.1%)



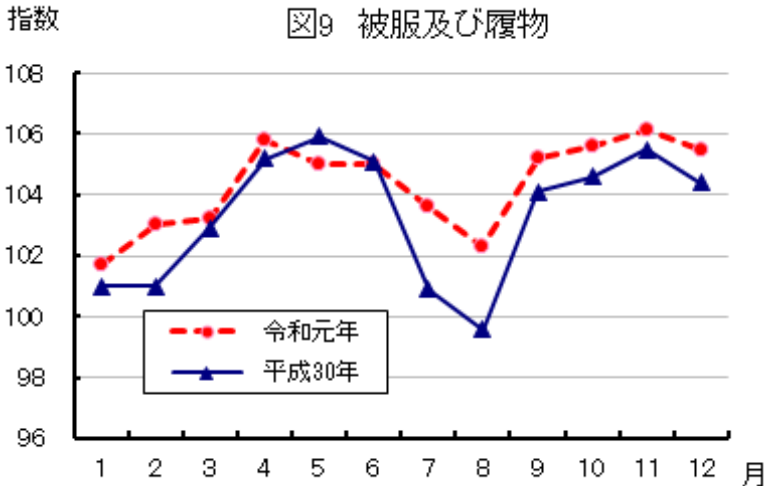
< 図8, 第1表 >

【被服及び履物】 指数 104.3

全体で前年比 0.9%の上昇

**上昇** 履物類 (5.7%) ,  
シャツ・セーター・下着類 (3.1%) ,  
被服関連サービス (1.0%)

**下落** 他の被服 (△4.5%) , 衣料 (△1.3%)

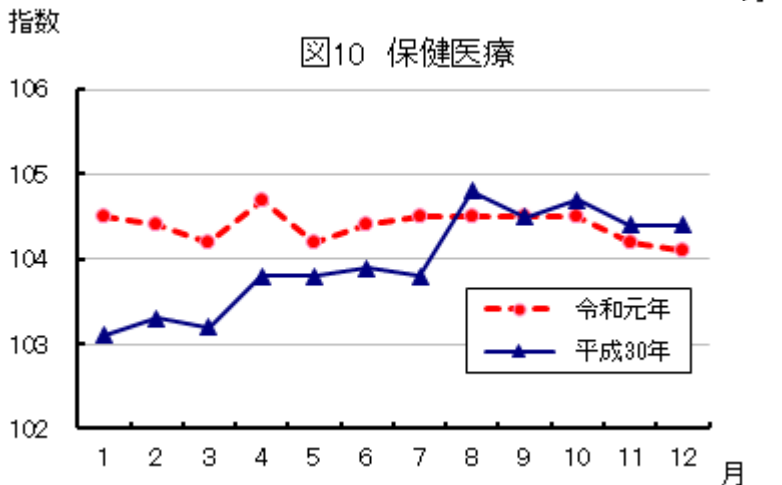


< 図9, 第1表 >

【保健医療】 指数 104.4

全体で前年比 0.4%の上昇

**上昇** 保健医療サービス (1.0%)  
**下落** 保健医療用品・器具 (△1.3%)  
**同水準** 医薬品・健康保持用摂取品

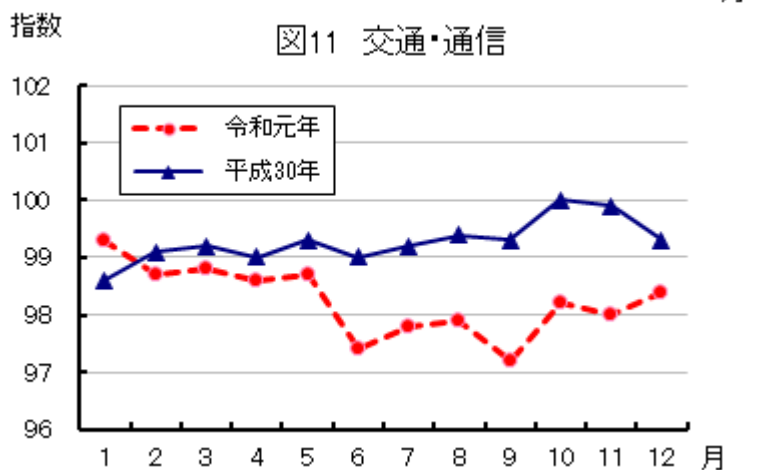


< 図10, 第1表 >

【交通・通信】 指数 98.2

全体で前年比 1.0%の下落

**上昇** 交通 (0.6%)  
**下落** 通信 (△3.4%) ,  
自動車等関係費 (△0.5%)



< 図11, 第1表 >

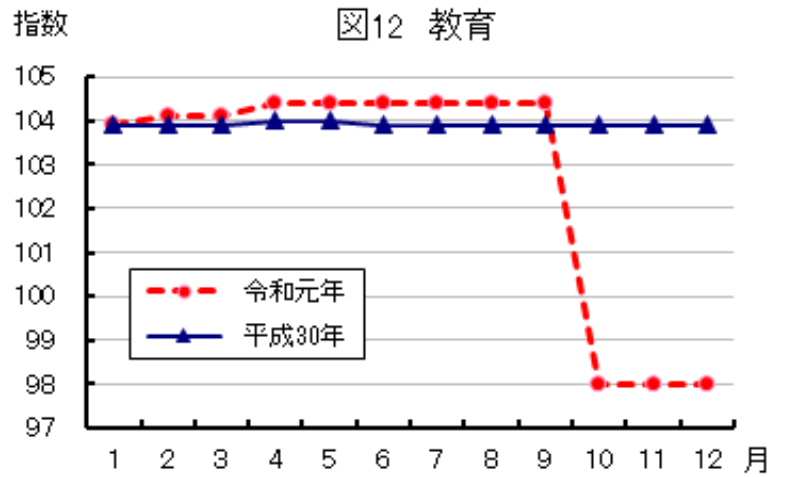
**【教育】 指数 102.7**

全体で前年比 1.2%の下落

**上昇** 補習教育 (1.0%) ,  
教科書・学習参考教材 (0.4%)

**下落** 授業料等 (△3.8%)

< 図12, 第1表 >



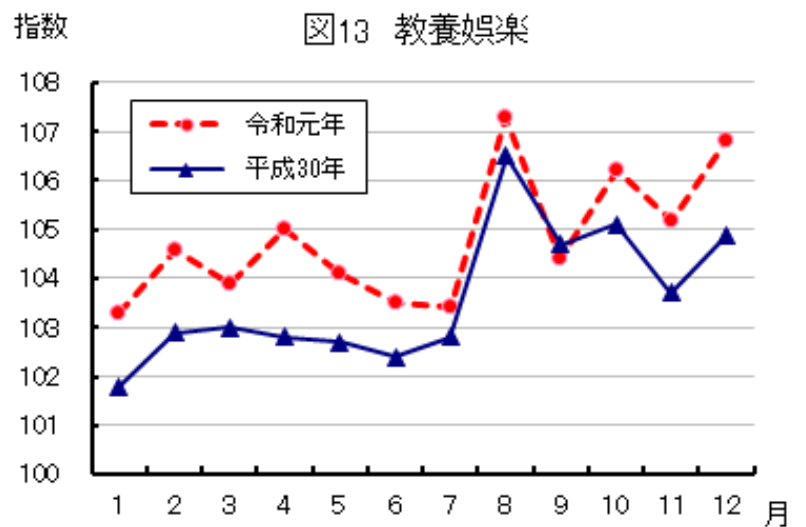
**【教養娯楽】 指数 104.8**

全体で前年比 1.1%の上昇

**上昇** 書籍・他の印刷物 (4.2%) ,  
教養娯楽サービス (1.8%)

**下落** 教養娯楽用耐久財 (△1.9%) ,  
教養娯楽用品 (△1.6%)

< 図13, 第1表 >



**【諸雑費】 指数 101.1**

全体で前年比 0.1%の上昇

**上昇** たばこ (6.4%) ,  
身の回り用品 (2.7%) ,  
理美容サービス (1.2%) ,  
理美容用品 (0.4%)

**下落** 他の諸雑費 (△3.0%)

< 図14, 第1表 >

